

# 「農協の存在意義と新しい展開方向」 —他律的改革への決別と新提案—

第20回JA全国大会が“JA改革”を掲げてから15年になろうとしている。成果はどう評価できるだろうか。多年JAの取組みを見てこられた藤谷築次農業開発研修センター会長は“JA改革が声高に叫ばれ、さまざまな取り組みがなされているが、その成果は必ずしも目に見えるものになっていない。農協グループの存在感はむしろ希薄化していく傾向にあ”るといわれているが、同感する向きも多いのではないかと。

何故なのか、どこに問題があるのか、どうすべきか——近畿農協研究会50周年、農業開発研修センター40周年を記念して出版された小池恒男編著「農協の存在意義と新しい展開方向」は、この問題に真正面から取り組んだ力作である。いまあげた藤谷評も本書の中で下されている評価だが、この力作を素材にして、“JA改革”のあり方、JAのこれからを勉強し、議論しよう、ということで今回の研究会を企画した。

“改革”に、今、取り組んでいる、多数のJA役職員の皆さんの参加を望む。

梶井 功（農業協同組合研究会会長）

日時：2009年3月7日（土）午後1時30分～5時




場所：大手町JAビル8階・全中大会議室

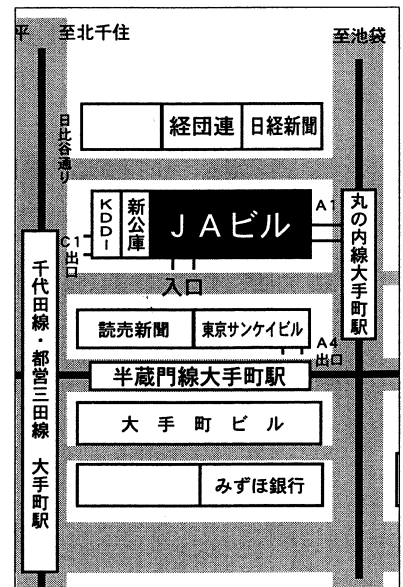
（当日JAビル正面玄関は閉まっています。（裏口）へお回りください。

東京都千代田区大手町1-8-3

交通：東京メトロ 丸の内線・千代田線「大手町駅」から2～3分

なお、参加料は無料です。

報告 1	<p>農協の主体的な組織改革にどう取り組むか — 記念出版第Ⅲ部を中心に —</p> <p>小池 恒男氏（滋賀県立大学 名誉教授）</p>	
報告 2	<p>「農協の存在意義と新しい展開方向」から何を学ぶか 第Ⅲ部「農協の組織改革の戦略的課題」に焦点を当て、 第25階JA全国大会に向けての論点を考える</p> <p>白石 正彦氏（東京農業大学 名誉教授）</p>	
司 会	<p>北出 俊昭氏 元明治大学教授</p>	



お問合せ先 〈農業協同組合研究会事務局〉

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-1-15 (社)農協協会内

電話 03-3639-1121(代) F A X 03-3639-1120 Eメール info@jacom.or.jp